

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2000-165445

(43)Date of publication of application : 16.06.2000

(51)Int.Cl.

H04L 12/56
H04J 3/00
H04J 3/04
H04N 7/08
H04N 7/081

(21)Application number : 10-340785

(71)Applicant : SONY CORP

(22)Date of filing : 30.11.1998

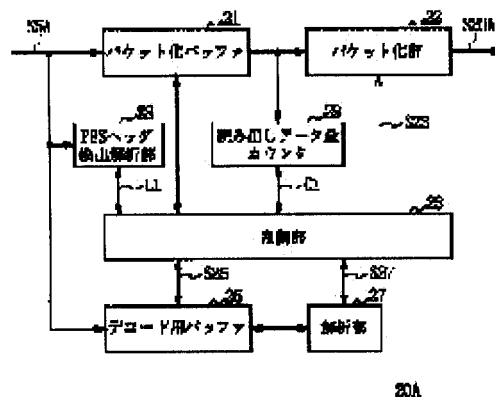
(72)Inventor : SUMIDA TETSUO

(54) DATA PACKETIZING DEVICE, METHOD THEREFOR AND DATA MULTIPLEXER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To obtain a data packetizing device without causing any delay in the generation of packets even when input of input data is interrupted with a simple configuration.

SOLUTION: This data packetizing device is provided with an input data storage means 21 that stores input data, block position detection means 27, 28 that detect a block position of input data on the basis of information of the input data, and packetizing means 22, 23 that read the input data from the input data storage means 21 and packetizes the data when a prescribed amount of the input data are stored in the input data storage means 21 or a block position is detected.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2000-165445
(P2000-165445A)

(43)公開日 平成12年6月16日(2000.6.16)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)
H 0 4 L 12/56		H 0 4 L 11/20	1 0 2 A 5 C 0 6 3
H 0 4 J 3/00		H 0 4 J 3/00	M 5 K 0 2 8
	3/04		Z 5 K 0 3 0
H 0 4 N 7/08		H 0 4 N 7/08	Z 9 A 0 0 1
	7/081		

審査請求 未請求 請求項の数15 O L (全 14 頁)

(21)出願番号 特願平10-340785

(22)出願日 平成10年11月30日(1998.11.30)

(71)出願人 000002185

ソニー株式会社

東京都品川区北品川6丁目7番35号

(72)発明者 岡田 哲夫

東京都品川区北品川6丁目7番35号ソニー
株式会社内

(74)代理人 100082740

弁理士 田辺 恵基

Fターム(参考) 5C063 AB03 AB07 AC01 CA11

5K028 EE03 EE08 KK32 SS24

5K030 JA01 JA05 KA03 KX12 MB15

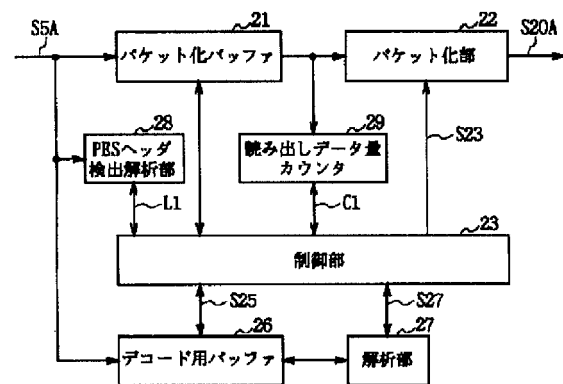
9A001 CC02 EE04

(54)【発明の名称】 データパケット化装置及び方法並びにデータ多重化装置

(57)【要約】

【課題】簡易な構成による、入力データの入力が中断した場合においてもパケットの生成遅延を生じないデータパケット化装置を得る。

【解決手段】入力データを蓄積する入力データ蓄積手段21と、入力データの区切り位置を入力データの情報に基づいて検出する区切り位置検出手段27及び28と、入力データ蓄積手段21に所定量の入力データが蓄積された場合又は区切り位置が検出された場合、入力データ蓄積手段21から入力データを読み出しパケット化するパケット化手段22及び23を設けた。



20A

図2 第1の実施の形態によるパケット化装置

【特許請求の範囲】

【請求項 1】所定のデータ供給手段から供給される入力データをバケット化して出力するデータバケット化装置において、

上記入力データを蓄積する入力データ蓄積手段と、
上記入力データの区切り位置を上記入力データの情報に基づいて検出する区切り位置検出手段と、
上記入力データ蓄積手段に所定量の上記入力データが蓄積された場合又は上記区切り位置が検出された場合、上記入力データ蓄積手段から上記入力データを読み出しバケ

ット化するバケット化手段とを具えることを特徴とするデータバケット化装置。

【請求項 2】上記入力データはバケット化された入力バケットであり、上記区切り位置は上記入力バケットの最終位置であることを特徴とする請求項 1 に記載のデータバケット化装置。

【請求項 3】上記区切り位置検出手段は、
上記入力バケットに記入されたバケット長情報を検出して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 2 に記載のデータバケット化装置。

【請求項 4】上記区切り位置検出手段は、
上記入力バケットを解析して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 2 に記載のデータバケット化装置。

【請求項 5】上記区切り位置検出手段は、
上記データ供給手段から供給される、上記入力バケットの最終位置を示す最終位置信号に基づいて上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 2 に記載のデータバケット化装置。

【請求項 6】所定のデータ供給手段から供給される入力データをバケット化するデータバケット化方法において、

上記入力データを入力データ蓄積手段に蓄積する蓄積ステップと、
上記入力データ蓄積手段に所定量の上記入力データが蓄積されたことを検出又は上記入力データの区切り位置を検出する検出ステップと、

上記検出ステップによって上記入力データ蓄積手段に所定量の上記入力データが蓄積されたことを検出した場合又は上記区切り位置が検出された場合、上記入力データ蓄積手段から上記入力データを読み出しバケット化するバケット化ステップとを具えることを特徴とするデータバケット化方法。

【請求項 7】上記入力データはバケット化された入力バケットであり、上記区切り位置は上記入力バケットの最終位置であることを特徴とする請求項 6 に記載のデータバケット化方法。

【請求項 8】上記検出ステップは、
上記入力バケットに記入されたバケット長情報を検出して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項

6 に記載のデータバケット化方法。

【請求項 9】上記検出ステップは、
上記入力バケットを解析して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 6 に記載のデータバケット化方法。

【請求項 10】上記検出ステップは、
上記データ供給手段から供給される、上記入力バケットの最終位置を示す最終位置信号に基づいて上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 6 に記載のデータバケット化方法。

【請求項 11】複数のデータ供給手段から供給される複数の入力データをそれぞれバケット化して多重化し出力する多重化装置において、

上記複数の入力データをそれぞれ蓄積する入力データ蓄積手段と、

上記入力データの区切り位置を上記入力データの情報に基づいて検出する区切り位置検出手段と、

上記入力データ蓄積手段に所定量の上記入力データが蓄積された場合又は上記区切り位置が検出された場合、上記入力データ蓄積手段から上記入力データを読み出しバケ

ット化するバケット化手段と、
上記バケットを多重化する多重化手段とを具えることを特徴とするデータ多重化装置。

【請求項 12】上記入力データはバケット化された入力バケットであり、上記区切り位置は上記入力バケットの最終位置であることを特徴とする請求項 11 に記載のデータ多重化装置。

【請求項 13】上記バケット化手段は、
上記入力バケットに記入されたバケット長情報を検出して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 12 に記載のデータ多重化装置。

【請求項 14】上記バケット化手段は、
上記入力バケットを解析して上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 12 に記載のデータ多重化装置。

【請求項 15】上記バケット化手段は、
上記データ供給手段から供給される、上記入力バケットの最終位置を示す最終位置信号に基づいて上記区切り位置を検出することを特徴とする請求項 12 に記載のデータ多重化装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はデータバケット化装置及び方法並びにデータ多重化装置に関し、例えばデジタルテレビジョン放送に用いるデータバケット化装置及びデータ多重化装置に適用して好適なものである。

【0002】

【従来の技術】従来、映像信号をデジタル化し、放送衛星を介して放送するデジタル衛星放送システムが開

は、映像信号をMPEG(Moving Picture Experts Group)2方式を用いて圧縮符号化してビットストリームを生成する。そして複数のビットストリームを多重化装置で多重化してトランスポートストリームを生成し、これを放送衛星を介して送信する。受信側はトランスポートストリームを受信した後MPEG2方式を用いて復号し、映像信号を得るようになされている。

【0003】図13は全体として多重化装置10を示し、同一構成でなるバケット化部15A~15Cは、それぞれ符号化装置(図示せず)から供給される、映像信号の1フレームを圧縮符号化してなるPES(Packetized Elemental Stream)バケットが連続したビットストリームS5A~S5Cを入力して188バイト長の固定長でなるトランスポートストリームバケット(以下これをTSバケットと呼ぶ)を生成し、これをビットストリームS15A~S15Cとして多重化部40に出力する。PESバケットのバケット長は映像の複雑さや圧縮率に応じて変動する。多重化部40はビットストリームS15A~S15CをTSバケット単位で多重化し、トランスポートストリームS40として多重バッファ45に出力する。

【0004】多重バッファ45はトランスポートストリームS40を一旦書き込んだ後、所定のタイミングで順次読出し、送信装置(図示せず)を介して送信する。

【0005】図14はバケット化部15AにおけるTSバケットの生成状態を示す。すなわちバケット化部15AはビットストリームS5A(図14(A))を構成する各PESバケットを、図14(B)に示すようにTSバケットのペイロードとして順次184バイト長に分割する。そして図14(C)に示すように、各ペイロードの先頭に4バイト長でなるTSヘッダHtsを付加し、188バイト長でなるTSバケットを生成する。

【0006】かかるTSバケットの生成は、一般に当該TSバケットのペイロードに割り当てられるデータが全てバケット化部15Aに入力されたタイミングで行われる。すなわちバケット化部15Aは、TSバケットTP1のペイロードに割り当てられるデータD1(184バイト)がバケット化部15Aに入力完了した時点t1においてTSバケットTP1を生成する。同様にバケット化部15Aは、TSバケットTP2のペイロードに割り当てられるデータD2(184バイト)がバケット化部15Aに入力完了した時点t2においてTSバケットTP2を生成する。

【0007】ここで、あるTSバケットTP3のペイロードがPESバケットPes1の最後尾部データD3であり、当該PESバケット最後尾部データD3のデータ長がTSバケットのペイロード長(184バイト)に満たない場合、バケット化部15AはTSヘッダHtsとPESバケット最後尾部データD3との間に無効データ(以下これをスタッフィングバイトStuffと呼ぶ)を付加

し、TSヘッダHts、スタッフィングバイトStuff及びPESバケット最後尾部データD3の合計長が188バイト(TSバケットのバケット長)になるようにしてTSバケットTP3を生成する。この場合当該TSバケットTP3の生成は、PESバケットPes1に続くPESバケットPes2がバケット化部15Aに入力を開始した時点t3において行われる。

【0008】そしてバケット化部15Aは、PESバケットPes2の先頭が次のTSバケットTP4のペイロード先頭に位置するようにして、当該TSバケットTP4を生成する。

【0009】このような、PESバケットの先頭をTSバケットのペイロード先頭に一致させる位置合わせ処理をアラインメント処理と呼ぶ。かかるアラインメント処理を行うことにより、1つのTSバケットに2つのPESバケットのデータが含まれることを回避し、TSバケットからPESバケットを再生しやすいという利点が生ずる。

【0010】

【発明が解決しようとする課題】従来デジタル衛星放送システムでは、単位時間当たりの符号化データ量が一定の固定ビットレート方式による符号化が用いられている。かかる固定ビットレート方式においては、PESバケットは符号化装置から連続して送出される。

【0011】これに対し、単位時間当たりの符号化データ量が可変の可変ビットレート方式を用いたデジタル衛星放送システムが考えられている。可変ビットレート方式を用いることにより、符号化する映像の画質や優先度等に応じてビットレートを変え、これにより多重化効率を向上することができる。

【0012】かかる可変ビットレート方式では、PESバケットは符号化装置から断続的に送出される場合がある。この場合、アラインメント処理を行うことによりTSバケットの生成に遅延が生ずる。

【0013】すなわち図15(A)に示すように、あるPESバケットPes1とこれに続くPESバケットPes2が、遅延時間Tを隔ててバケット化部15Aに供給されたとする。バケット化部15Aは図15(B)に示すように、PESバケットPes1をTSバケットのペイロードとして先頭から順次184バイト長に分割する。そして図15(C)に示すように、各ペイロードの先頭に4バイト長でなるTSヘッダHtsを付加し、188バイト長でなるTSバケットを生成する。

【0014】このときバケット化部15Aは、PESバケットPes1の最後尾部データD3にTSヘッダHts及びスタッフィングバイトStuffを付加し、TSヘッダHts、スタッフィングバイトStuff及びPESバケット最後尾部データD3の合計長が188バイトになるようにしてTSバケットTP3を生成する。当該TSバケットTP3の生成は、PESバケットPes1に続くPESバケ

10

20

30

40

50

ットPes2が、バケット化部15Aに入力を開始した時点t3'において行われる。すなわち、PESバケットが連続的に供給される場合に比べて、TSバケットTP3の生成が遅延時間Tだけ遅延する。

【0015】かかるTSバケットTP3の生成遅延は、受信側における復号処理に影響を及ぼす。すなわち受信側においてPESバケットPes1を再生するためには当該PESバケットPes1から生成されたTSバケットTP1～TP3が全て必要であるため、TSバケットTP3の生成が遅延することによりPESバケットPes1の再生も遅延する。各PESバケットにはそれぞれDTS（Decoding Time Stamp）と呼ばれる復号時間情報が付せられており、PESバケットPes1の再生完了がDTSに指示された復号時間よりも遅れた場合、PESバケットPes1を所定の復号時間までに復号できず、これにより復号破綻を生じるという問題を有している。

【0016】本発明は以上の点を考慮してなされたもので、簡易な構成による、入力データの入力が中断した場合においてもバケットの生成遅延を生じないデータバケット化装置及び方法並びにデータ多重化装置を提案しようとするものである。

【0017】

【課題を解決するための手段】かかる課題を解決するため本発明においては、入力データを蓄積する入力データ蓄積手段と、入力データの区切り位置を入力データの情報に基づいて検出する区切り位置検出手段と、入力データ蓄積手段に所定量の入力データが蓄積された場合又は区切り位置が検出された場合、入力データ蓄積手段から入力データを読み出しバケット化するバケット化手段を設けた。

【0018】入力データの区切り位置を検出し、当該区切り位置が検出された場合入力データ蓄積手段に所定量の入力データが蓄積されていなくてもバケット化を行うようにしたことにより、入力データの入力が中断した場合においてバケットの生成遅延を回避することができる。

【0019】

【発明の実施の形態】以下図面について本発明の一実施の形態を詳述する。

【0020】（1）第1の実施の形態

（1-1）ディジタル衛星放送システムの全体構成

図1において、1は全体として本発明の第1の実施の形態によるディジタル衛星放送システムを示し、同一構成でなる符号化部5A～5Cはそれぞれ外部から供給される映像信号をMPEG（Moving Picture Experts Group）2方式により圧縮符号化した後可変長符号化し、PES（Packetized Elementary Stream）バケットが連続してなるビットストリームS5A～S5Cを生成して多重化装置11に出力する。

【0021】多重化装置11が有するバケット化部20

A～20Cは、それぞれビットストリームS5A～S5CをTSバケット化し、当該TSバケットが連続してなるビットストリームS20A～S20Cを生成してこれを多重化部40に出力する。多重化部40はビットストリームS20A～S20CをTSバケット単位で多重し、トランスポートストリームS40として多重バッファ45に出力する。多重バッファ45はトランスポートストリームS40を書き込んだ後所定のタイミングで読み出し、送信部50に出力する。

10 【0022】送信部50はトランスポートストリームS40を変調し、放送波S50として送信アンテナ51を介して放送衛星52に送信する。放送衛星52は放送波S50をトランスポンダ（図示せず）で受信した後増幅し、放送波S52として再送信する。

【0023】IRD（Integrated Receiver Decoder：受信復号装置）60は、放送波S52を受信アンテナ53を介して受信して復号し映像信号S64を生成し、これをモニター100に表示する。

20 【0024】（1-2）第1の実施の形態によるバケット化装置の構成

図2は全体としてバケット化装置20Aを示し、ビットストリームS5Aを入力データ蓄積手段としてのバケット化バッファ21、区切り位置検出手段としてのPESヘッダ検出解析部28及びデコード用バッファ26に出力する。

30 【0025】バケット化手段としての制御部23は、バケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS5Aの蓄積量を常に監視しており、当該蓄積量がTSバケットのペイロード長である184バイトに達する毎に、バケット化実行信号S23をバケット化部22に出力する。

【0026】バケット化手段としてのバケット化部22は、バケット化実行信号S23に応じてバケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS5Aを読みだし、当該ビットストリームS5Aを構成するPESバケットを順次TSバケット化し、これをビットストリームS20Aとして出力する。

40 【0027】このときPESヘッダ検出解析部28はPESバケットのPESヘッダを検出して解析し、PESバケットのバケット長情報を得る。すなわち図3（A）に示すように、PESバケットの先頭に設けられたPESヘッダには、24ビット長のバケット開始コードD1及び8ビット長のストリームID D2に続いて、当該PESバケットのバケット長を示す、16ビット長のPESバケット長D3が記述されている。PESヘッダ検出解析部28は、当該PESヘッダ検出解析部28が有する、連続するデータを6バイト（48ビット）分格納するヘッダ検出レジスタ28A（図4（A））にビットストリームS5Aを順次格納する。そしてPESヘッダ検出解析部28は、ヘッダ検出レジスタ28Aの先頭か

ら4個のレジスタ(0)~(3)に格納されているデータを図4(B)に示すPESヘッダ検出条件と比較することによりPESヘッダを検出する。レジスタ(0)~(3)に格納されているデータがPESヘッダ検出条件に合致する場合、当該レジスタ(0)~(3)に格納されているデータはパケット開始コード及びストリームIDであり、レジスタ(4)及び(5)に格納されているデータはPESパケット長D3(図3(A))である。PESヘッダ検出解析部28は、レジスタ(4)及び(5)に格納されているデータを、PESパケット長値L1として制御部23に出力する。

$$E1 = L1 - C1 < 184 \text{ [byte]}$$

【0030】を満たした場合、パケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS5AはPESパケットの最後尾部分であると判断し、当該パケット化バッファ21の蓄積量が差分値E1に達した時点でパケット化実行信号S23をパケット化部22に出力するとともに、読み出しデータ量カウンタ29をリセットする。

【0031】パケット化部22はパケット化実行信号S23に応じてパケット化バッファ21からデータ(PESパケットの最後尾部分)を読み出し、これをベイロードとしてTSパケットを生成する。すなわちパケット化部22は図5(A)に示すように、TSヘッダD20、アダプテーションフィールドD21及びベイロードD22の合計長が188バイトになるようにアダプテーションフィールドD21を設け、アダプテーションフィールドD21のバイト長に応じて当該アダプテーションフィールドD21に図5(B)に示すスタッフィングバイトを記入してアライメント処理を行いTSパケットを生成する。

【0032】ここで、PESヘッダにPESパケット長D3が記述されていない場合が考えられる。この場合制御部23は、解析部27から供給される最終データ位置情報S27に応じてアライメント処理を行いTSパケットを生成する。

【0033】すなわち区切り位置検出手段としての解析部27は、パケット化バッファ21からビットストリームS5Aを読みだし、当該ビットストリームS5Aを構成するPESパケットを順次可変長復号化する。

【0034】MPEG2方式では、PESパケットが有する画像データの水平方向画素数及び垂直方向画素数の情報を、当該PESパケットのベイロード部に記述するようになされている。すなわち図3(B)に示すように、14ビットでなる水平方向画素数Hsizeを下位12ビット及び上位2ビットに分割し、それぞれを水平画素値(HSV: Horizontal Size Value)D10及び拡張水平画素値(HSE: Horizontal Size Extension)D11としてそれぞれシーケンスヘッダD5及びシーケンスエクステンションD6に記述し、同様に14ビットでなる垂直方向画素数Vsizeを下位12ビット及び上位2

＊【0028】読み出しデータ量カウンタ29は、パケット化バッファ21から読みだされたPESパケットのデータ量を読み出しデータ量カウンタ値C1としてカウントする。制御部23は読み出しデータ量カウンタ値C1を常に監視しており、PESパケット長値L1と読み出しデータ量カウンタ値C1の差分値E1がTSパケットのベイロード長である184バイト未満になった場合、すなわち次式

$$【0029】$$

$$【数1】$$

$$\dots\dots (1)$$

ビットに分割し、それぞれを垂直画素値(VSV: Vertical Size Value)D12及び拡張垂直画素値(VSE: Vertical Size Extension)D13としてそれぞれシーケンスヘッダD5及びシーケンスエクステンションD6に記述するようになされている。

【0035】解析部27は、PESパケットのシーケンスヘッダD5及びシーケンスエクステンションD6を解析して水平画素値D10及び拡張水平画素値D11、並びに垂直画素値D12及び拡張垂直画素値D13を得て、それぞれを図3(B)に示すように加算して水平画素数Hsize及び垂直画素数Vsizeを得る。そして水平方向画素数Hsize及び垂直方向画素数Vsizeの値を、それぞれ画像符号化の基本単位であるマクロブロックの縦横画素数である「16」で割ることにより、PESパケットが有する画像データの水平方向マクロブロック数HsizeMB及び垂直方向マクロブロック数VsizeMBを得る。

【0036】解析部27は、ビットストリームS5Aを構成するPESパケットを可変長復号化して得られたマクロブロックの数と、水平方向マクロブロック数HsizeMB及び垂直方向マクロブロック数VsizeMBを比較することによりPESパケットの最終位置を解析し、これをPES最終データ位置情報S27として制御部23に送出する。制御部23はPES最終データ位置情報S27に応じてパケット化実行信号S23をパケット化部22に出力し、アライメント処理を行いTSパケットを生成する。

【0037】図6はパケット化装置20Aにおけるパケット化処理を示し、制御部23はRT1の開始ステップから入り、ステップSP1でパケット化装置20AにビットストリームS5Aのデータが入力されているか否かを判断する。ステップSP1において否定結果が得られた場合、このことはパケット化装置20AにビットストリームS5Aのデータが入力されていないことを示しており、制御部23はステップSP1に戻る。一方ステップSP1において肯定結果が得られた場合、このことはパケット化装置20AにビットストリームS5Aのデータが入力されていることを示しており、制御部23はステップSP2に進み、ビットストリームS5Aを1バイ

トつづパケット化バッファ21及びデコード用バッファ26に蓄積する。

【0038】ステップSP3において制御部23は、現在パケット化バッファ21に蓄積されているデータがPESヘッダであるか否かを、PESヘッダ検出解析部28のヘッダ検出レジスタ28Aを参照して判断する。ステップSP3において肯定結果が得られた場合、このことは現在パケット化バッファ21に蓄積されているデータがPESヘッダであることを示しており、制御部23はステップSP4に進む。

【0039】ステップSP4において、制御部23は現在パケット化バッファ21に蓄積されているPESヘッダにPESパケット長が記述されているか否かを判断する。ステップSP4において肯定結果が得られた場合、このことはPESヘッダにPESパケット長D3（図3（A））が記述されていることを示しており、制御部23はステップSP5に進み、PESヘッダ検出解析部28からPESパケット長D3を取得する。

【0040】これに対してステップSP4において否定結果が得られた場合、このことはPESヘッダにPESパケット長D3が記述されていないことを示しており、制御部23はステップSP6に進み、現在パケット化バッファ21に蓄積されているPESパケットのPESパケット長を「記述無し」と設定しステップSP1に戻る。

【0041】一方、ステップSP3において否定結果が得られた場合、このことは現在パケット化バッファ21に蓄積されているデータがPESヘッダではないことを示しており、制御部23はステップSP7に進む。

【0042】ステップSP7において、制御部23は現在パケット化バッファ21に蓄積されているPESパケットのPESヘッダにPESパケット長D3が記述されているか否かを判断する。ステップSP7において肯定結果が得られた場合、このことはPESヘッダにPESパケット長D3が記述されていることを示しており、制御部23はステップSP9に進む。

【0043】これに対してステップSP7において肯定結果が得られた場合、このことはPESヘッダにPESパケット長D3が記述されていないことを示しており、制御部23はステップSP8に進み、PES最終データ位置情報S27を解析部27から取得してステップSP9に進む。

【0044】ステップSP9において、制御部23はパケット化バッファ21に入力されたデータがPESパケットの最終データか否かをPESパケット長D3又はPES最終データ位置情報S27に基づいて判断する。ステップSP9において否定結果が得られた場合、このことはパケット化バッファ21に入力されたデータがPESパケットの最終データではないことを示しており、制御部23はステップSP11に進む。

【0045】ステップSP11において、制御部23はパケット化バッファ21のデータ蓄積量が所定量（TSパケットのペイロードとしての184バイト）に達しているか否かを判断する。ステップSP11において否定結果が得られた場合、このことはデータ蓄積量が184バイトに達していないことを表しており、制御部23はステップSP1に戻る。

【0046】これに対してステップSP11において肯定結果が得られた場合、このことはデータ蓄積量が184バイトに達していることを表しており、制御部23はステップSP12に進み、パケット化バッファ21に蓄積されているデータをペイロードとしてTSパケットを生成して送出し、ステップSP1に戻る。

【0047】一方、ステップSP9において肯定結果が得られた場合、このことはパケット化バッファ21に入力されたデータがPESパケットの最終データであることを示しており、制御部23はステップSP10に進む。

【0048】ステップSP10において、制御部23はデコード用バッファに蓄積されているデータをクリアするとともに現在パケット化バッファ21に蓄積されているPESパケットのPESパケット長を「記述無し」と設定した後ステップSP12に進み、パケット化バッファ21に蓄積されているデータをペイロードとしてアライメント処理を行ってTSパケットを生成して送出し、ステップSP1に戻る。

【0049】制御部23は上記の処理を繰り返し、PESパケットの最終位置を検出してアライメント処理を行いTSパケットを生成する。

【0050】（1-3）動作及び効果

以上の構成において、PESヘッダ検出解析部28はビットストリームS5Aを構成するPESパケットのPESヘッダを検出して解析し、PESパケットのパケット長を示すPESパケット長値L1を制御部23に出力する。また解析部27はPESパケットを解析し、当該PESパケットの最終位置を示すPES最終データ位置情報S27として制御部23に出力する。

【0051】制御部23は、パケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS5Aの蓄積量が184バイトに達する毎にパケット化部22にパケット化実行信号S23を出力してTSパケットを生成するとともに、PESパケット長値L1又は最終データ位置情報S27に基づいてPESパケットの最終位置を検出し、当該検出結果に基づいてパケット化部22にパケット化実行信号S23を出力してTSパケットを生成する。

【0052】以上の構成によれば、PESパケットを解析して当該PESパケットの最終位置を検出し、当該最終位置の検出結果に基づいてTSパケットを生成するようにしたことにより、PESパケットの入力中断によるTSパケットの生成遅延を回避することができる。

【0053】(2) 第2の実施の形態

図1との対応部分に同一符号を付して示す図7において、2は全体として本発明の第2の実施の形態によるデジタル衛星放送システムを示し、符号化部6A~6C及び多重化装置12以外は図1に示すデジタル衛星放送システム1と同一である。

【0054】同一構成でなる符号化部6A~6Cは、それぞれ外部から供給される映像信号をMPEG (Moving Picture Experts Group) 2方式により圧縮符号化した後可変長符号化し、PES (Packetized Elementary Stream) パケットが連続してなるビットストリームS6A~S6Cを生成し、それぞれを多重化装置12が有するパケット化装置120A~120Cに出力する。ここで符号化部6A~6CはPESパケットの送出が中断する場合、MPEG 2方式で規定された、一連の画像の集合であるシーケンスの終了を示すシーケンスエンドコードを、送出中断前のPESパケットのペイロード部に記入する。

【0055】図8は全体としてパケット化装置120Aを示し、ビットストリームS6Aをデータ蓄積手段としてのパケット化バッファ21及び区切り位置検出手段としてのシーケンスエンドコード検出部30に入力する。

【0056】パケット化手段としての制御部123は、パケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS6Aの蓄積量を常に監視しており、当該蓄積量がTSパケットのペイロード長である184バイトに達する毎に、パケット化実行信号S123をパケット化部22に出力する。パケット化手段としてのパケット化部22は、パケット化実行信号S123に応じてパケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS6Aを読みだし、当該ビットストリームS6Aを構成するPESパケットを順次TSパケット化し、これをビットストリームS120Aとして出力する。

【0057】ここで、シーケンスエンドコード検出部30はビットストリームS6Aを常に監視しており、当該ビットストリームS6Aを構成するPESパケットにシーケンスエンドコードが記入されている場合、これに応じてシーケンスエンドコード検出信号S30を制御部123に出力する。

【0058】制御部123は、シーケンスエンドコード検出部30からシーケンスエンドコード検出信号S30の入力があった場合、パケット化バッファ21の蓄積量が184バイト未満であってもパケット化実行信号S123をパケット化部22に出力する。この場合パケット化部22は、パケット化実行信号S123に応じてパケット化バッファ21からビットストリームS6A (PESパケットの最終部分)を読み出し、アラインメント処理を行いTSパケットを生成する。

【0059】以上の構成において、符号化部6Aは外部から供給される映像信号を圧縮符号化してPESパケッ

トが連続してなるビットストリームS6Aを生成してパケット化装置120Aに出力する。このとき符号化部6Aは、PESパケットの送出が中断する場合、送出中断前のPESパケットのペイロード部にシーケンスエンドコードを記入する。

【0060】シーケンスエンドコード検出部30は、ビットストリームS6Aを構成するPESパケットを解析し、シーケンスエンドコードを検出した場合これに応じてシーケンスエンドコード検出信号S30を制御部123に出力する。

【0061】制御部123は、パケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS6Aの蓄積量が184バイトに達する毎にパケット化部22にパケット化実行信号S123を出力してTSパケットを生成するとともに、PESパケット長値L1又は最終データ位置情報S27に基づいてPESパケットの最終位置を検出し、当該検出結果に基づいてパケット化実行信号S23を出力してTSパケットを生成する。

【0062】以上の構成によれば、符号化部6AにおいてPESパケットの送出が中断する場合当該送出中断前のPESパケットのペイロード部にシーケンスエンドコードを記入するとともに、パケット化装置120AにおいてPESパケットを解析してシーケンスエンドコードを検出してPESパケットの入力中断を検出するようにしたことにより、PESパケットの入力中断によるTSパケットの生成遅延を回避することができる。

【0063】(3) 第3の実施の形態

図1との対応部分に同一符号を付して示す図9において、3は全体として本発明の第3の実施の形態によるデジタル衛星放送システムを示し、符号化部7A~7C及び多重化装置13以外は図1に示すデジタル衛星放送システム1と同一である。

【0064】同一構成でなる符号化部7A~7Cは、それぞれ外部から供給される映像信号をMPEG (Moving Picture Experts Group) 2方式により圧縮符号化した後可変長符号化し、PES (Packetized Elementary Stream) パケットが連続してなるビットストリームS5A~S5Cを生成し、それぞれを多重化装置13が有するパケット化装置220A~220Cに出力する。このとき符号化部7A~7CはPESパケットの最終位置の出力に同期して、当該PESパケットの最終位置を示すPES最終データ位置信号S7A~S7Cをそれぞれパケット化装置220A~220Cに出力する図10は全体としてパケット化装置220Aを示し、ビットストリームS5Aをデータ蓄積手段としてのパケット化バッファ21に入力する。

【0065】パケット化手段としての制御部223は、パケット化バッファ21に蓄積されているビットストリームS5Aの蓄積量を常に監視しており、当該蓄積量がTSパケットのペイロード長である184バイトに達す

る毎に、バケット化実行信号 S 2 2 3 をバケット化部 2 2 に出力する。バケット化手段としてのバケット化部 2 2 は、バケット化実行信号 S 2 2 3 に応じてバケット化バッファ 2 1 に蓄積されているビットストリーム S 5 A を読みだし、当該ビットストリーム S 5 A を構成する P E S パケットを順次 T S パケット化し、これをビットストリーム S 2 2 0 A として出力する。

【0066】ここで区切り位置検出手段としての制御部 2 2 3 は、符号化部 7 A (図 9) から P E S 最終データ位置信号 S 7 A の入力があった場合、バケット化バッファ 2 1 の蓄積量が 1 8 4 バイト未満であってもバケット化実行信号 S 2 2 3 をバケット化部 2 2 に出力する。この場合バケット化部 2 2 は、バケット化実行信号 S 2 2 3 に応じてバケット化バッファ 2 1 からビットストリーム S 5 A (P E S パケットの最終部分) を読み出し、アラインメント処理を行い T S パケットを生成する。

【0067】図 11 はバケット化装置 2 2 0 A におけるバケット化処理を示し、制御部 2 2 3 は R T 2 の開始ステップから入り、ステップ S P 3 1 でバケット化装置 2 2 0 A にビットストリーム S 5 A のデータが入力されているか否かを判断する。ステップ S P 3 1 において否定結果が得られた場合、このことはバケット化装置 2 2 0 A にビットストリーム S 5 A のデータが入力されていないことを示しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 1 に戻る。これに対してステップ S P 3 1 において肯定結果が得られた場合、このことはバケット化装置 2 2 0 A にビットストリーム S 5 A のデータが入力されていることを示しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 2 に進み、ビットストリーム S 5 A を 1 バイトずつバケット化バッファ 2 1 に蓄積する。

【0068】ステップ S P 3 3 において、制御部 2 2 3 はバケット化バッファ 2 1 に入力されたデータが P E S パケットの最終データか否かを、P E S 最終データ位置信号 S 7 A の入力の有無に基づいて判断する。ステップ S P 3 3 において否定結果が得られた場合、このことは P E S 最終データ位置信号 S 6 A の入力無く、バケット化バッファ 2 1 に入力されたデータが P E S パケットの最終データではないことを表しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 4 に進む。

【0069】ステップ S P 3 4 において、制御部 2 2 3 はバケット化バッファ 2 1 のデータ蓄積量が所定量 (T S パケットのペイロードとしての 1 8 4 バイト) に達しているか否かを判断する。ステップ S P 3 4 において否定結果が得られた場合、このことはデータ蓄積量が 1 8 4 バイトに達していないことを表しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 1 に戻る。これに対してステップ S P 3 4 において肯定結果が得られた場合、このことはデータ蓄積量が 1 8 4 バイトに達していることを表しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 5 に進み、バケット化バッファ 2 1 に蓄積されているデータをペイロードと

して T S パケットを生成して送出し、ステップ S P 3 1 に戻る。

【0070】一方、ステップ S P 3 3 において肯定結果が得られた場合、このことはバケット化バッファ 2 1 に入力されたデータが P E S パケットの最終データであることを表しており、制御部 2 2 3 はステップ S P 3 5 に進み、バケット化バッファ 2 1 に蓄積されているデータをペイロードとしてアラインメント処理を行って T S パケットを生成して送出し、ステップ S P 3 1 に戻る。

【0071】制御部 2 2 3 は上記の処理を繰り返し、P E S パケットの最終位置を検出してアラインメント処理を行い T S パケットを生成する。

【0072】以上の構成において、符号化部 7 A は外部から供給される映像信号を圧縮符号化して P E S パケットが連続してなるビットストリーム S 5 A を生成してバケット化装置 2 2 0 A に出力する。このとき符号化部 7 A は P E S パケットの最終位置の出力に同期して当該 P E S パケットの最終位置を示す P E S 最終データ位置信号 S 7 A をバケット化装置 2 2 0 A に出力する。

【0073】制御部 2 2 3 は、バケット化バッファ 2 1 に蓄積されているビットストリーム S 5 A の蓄積量が 1 8 4 バイトに達する毎にバケット化部 2 2 にバケット化実行信号 S 2 2 3 を出力して T S パケットを生成するとともに、P E S 最終データ位置信号 S 7 A の入力に応じてバケット化実行信号 S 2 3 を出力して T S パケットを生成する。

【0074】以上の構成によれば、符号化部 7 A において P E S パケットの最終位置の出力に同期して P E S 最終データ位置信号 S 7 A をバケット化装置 2 2 0 A に出力するとともに、バケット化装置 2 2 0 A において P E S 最終データ位置信号 S 7 A に応じて T S パケットを生成するようにしたことにより、P E S パケットの入力中断による T S パケットの生成遅延を回避することができる。

【0075】(4) 他の実施の形態

上述の第 1 の実施の形態においては、P E S パケットを解析して当該 P E S パケットの最終位置を検出し、当該検出結果に基づいて T S パケットを生成するようにしたが、本発明はこれに限らず、P E S パケット最終位置検出による T S パケット生成に加えて、P E S パケットの入力中断時間を測定し当該入力中断時間が所定の間断時間閾値を越えた場合に T S パケットを生成するようにしても良い。この場合、構成は第 1 の実施例と同一であり、制御部 2 3 (図 2) のバケット化処理のみが異なる。

【0076】図 12 は他の実施の形態によるバケット化処理を示し、制御部 2 3 は R T 3 の開始ステップから入り、ステップ S P 4 1 でバケット化装置 2 0 A (図 2) にビットストリーム S 5 A のデータが入力されているか否かを判断する。ステップ S P 4 1 において否定結果が

得られた場合、このことはバケット化装置 20A にビットストリーム S5A のデータが入力されていないことを示しており、制御部 23 はステップ SP53 に進み、バケット化バッファ 21 (図 2) への入力中断時間が所定の間断時間閾値を越えているか否かを判断する。ステップ SP53 において否定結果が得られた場合、このことはバケット化バッファ 21 への入力中断時間が所定の間断時間閾値を越えていないことを表しており、制御部 23 はステップ SP41 に戻る。これに対してステップ SP53 において肯定結果が得られた場合、このことはバケット化バッファ 21 への入力中断時間が所定の間断時間閾値を越えていることを表しており、制御部 23 はステップ SP54 に進み、バケット化実行信号 S23 をバケット化部 22 (図 2) に出力して TS バケットを生成する。

【0077】一方、ステップ SP41 において肯定結果が得られた場合、このことはバケット化装置 20A にビットストリーム S5A のデータが入力されていることを示しており、制御部 23 はステップ SP42 に進む。以降の処理は、図 6 に示す第 1 の実施の形態によるバケット化処理のステップ SP2～SP12 と同一である。

【0078】

【発明の効果】上述のように本発明によれば、入力データの区切り位置を検出し、入力データ蓄積手段に所定量の入力データが蓄積された場合又は区切り位置が検出された場合、入力データ蓄積手段から入力データを読み出してバケット化するようにしたことにより、入力データの入力中断した場合においてもバケットの生成遅延を回避することができる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の第 1 の実施の形態によるデジタル衛星放送システムを示すブロック図である。

【図 2】本発明の第 1 の実施の形態によるバケット化装置を示すブロック図である。

【図 3】PES バケットのデータ構造を示す略線図である。

【図 4】PES ヘッダの検出の説明に供する略線図であ *

＊る。

【図 5】アラインメント処理の説明に供する略線図である。

【図 6】本発明の第 1 の実施の形態によるバケット化処理を示すフローチャートである。

【図 7】本発明の第 2 の実施の形態によるデジタル衛星放送システムを示すブロック図である。

【図 8】本発明の第 2 の実施の形態によるバケット化装置を示すブロック図である。

【図 9】本発明の第 3 の実施の形態によるデジタル衛星放送システムを示すブロック図である。

【図 10】本発明の第 3 の実施の形態によるバケット化装置を示すブロック図である。

【図 11】本発明の第 3 の実施の形態によるバケット化処理を示すフローチャートである。

【図 12】他の実施の形態によるバケット化処理を示すフローチャートである。

【図 13】多重化装置を示すブロック図である。

【図 14】TS バケットの生成の説明に供する略線図である。

【図 15】TS バケットの生成遅延の説明に供する略線図である。

【符号の説明】

1、2、3、4……デジタル衛星放送システム、5A～5C、6A～6C、7A～7C……符号化部、10、11、12、13……多重化装置、15A～15C、20A～20C、120A～120C、220A～220C……バケット化装置、21……バケット化バッファ、22……バケット化部、23、123、223……制御部、26……デコード用バッファ、27……解析部、28……PES ヘッダ検出解析部、29……読出しデータ量カウンタ、30……シーケンスエンドコード検出部、40……多重化部、45……多重バッファ、50……送信部、51……送信アンテナ、52……放送衛星、53……受信アンテナ、60……IRD、100……モニタ。

【図 10】

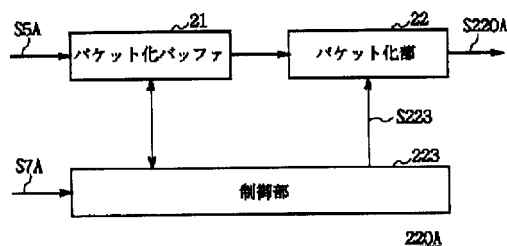


図 10 第 3 の実施の形態によるバケット化装置

【図1】

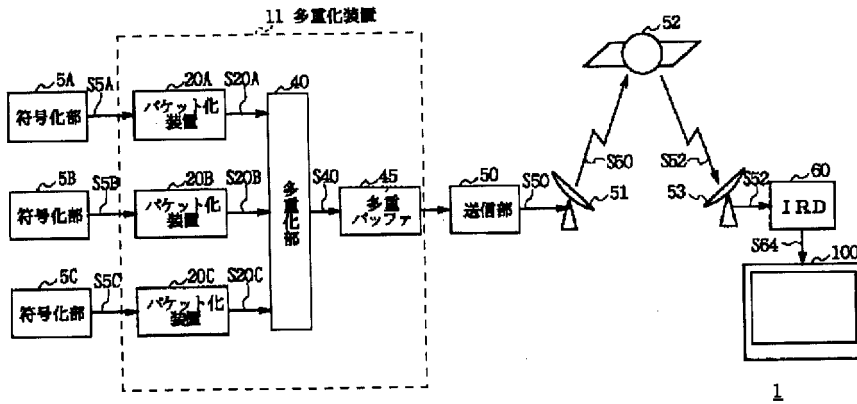


図1 第1の実施の形態によるデジタル衛星放送システム

【図2】

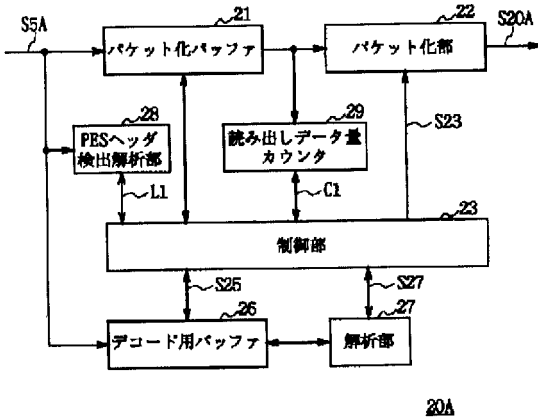


図2 第1の実施の形態によるパケット化装置

【図6】

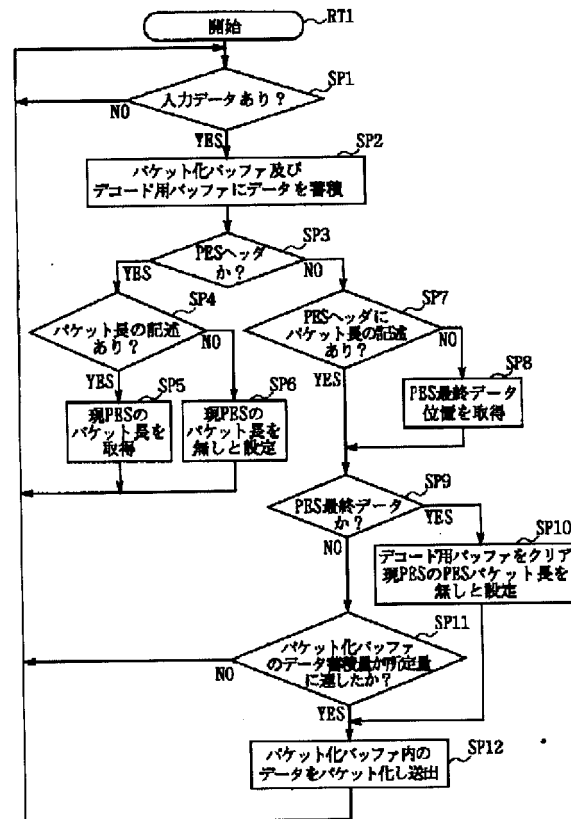


図6 第1の実施の形態によるパケット化処理

【図3】

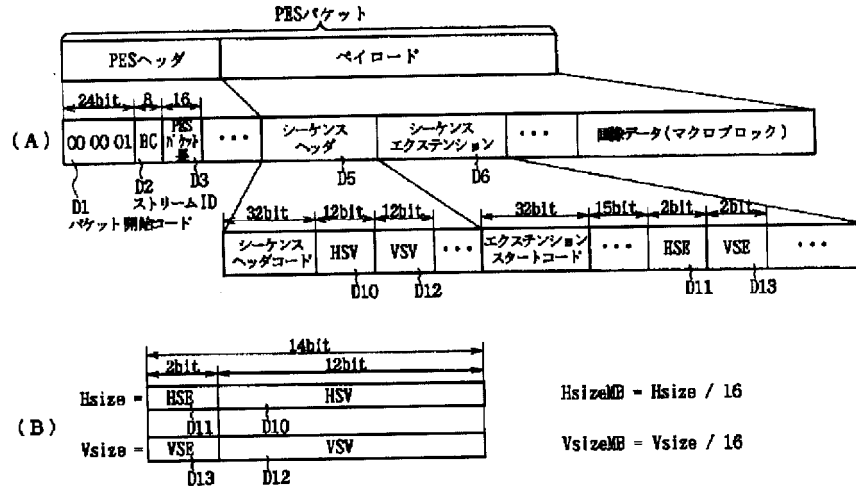


図3 PESパケットのデータ構造

【図4】

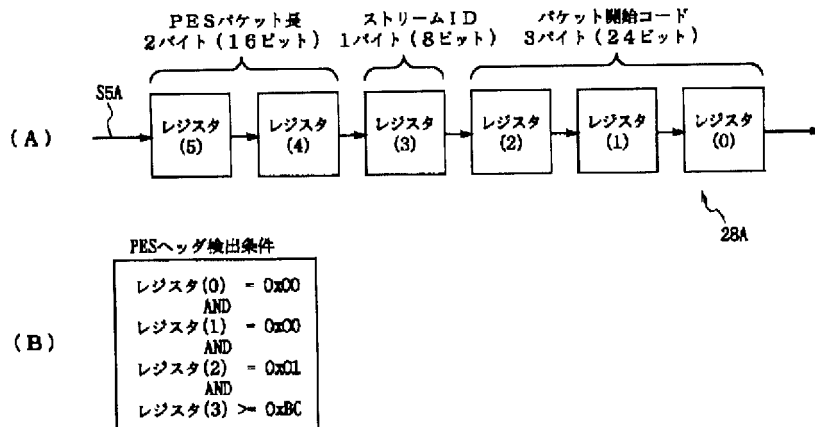
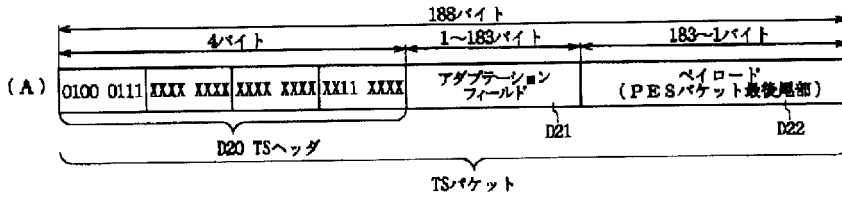


図4 PESヘッダの検出

【図5】



(B)

アダプテーションフィールド	
バイト長	スタフィングバイト
1バイト	0x00
2バイト	0x01, 0x00
3バイト	0x02, 0x00, 0xff
⋮	⋮
nバイト (3バイト以上)	n-1, 0x00, 0xff(n-2個)

図5 アラインメント処理

【図7】

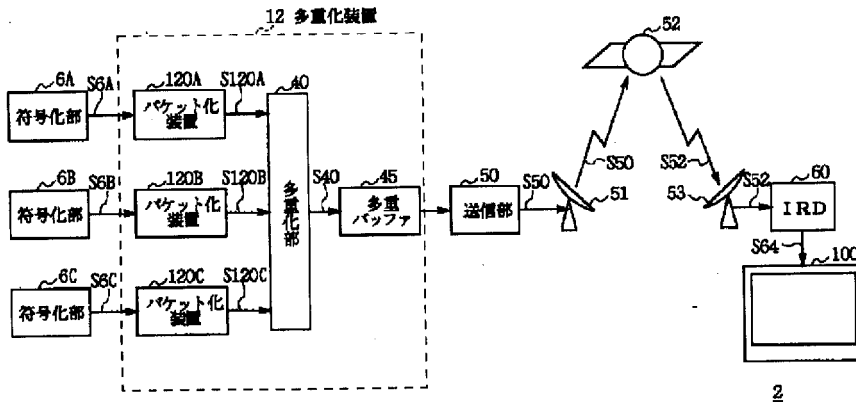


図7 第2の実施の形態によるデジタル衛星放送システム

【図8】

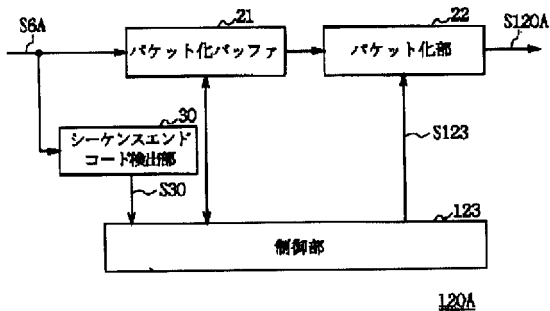


図8 第2の実施の形態によるパケット化装置

【図13】

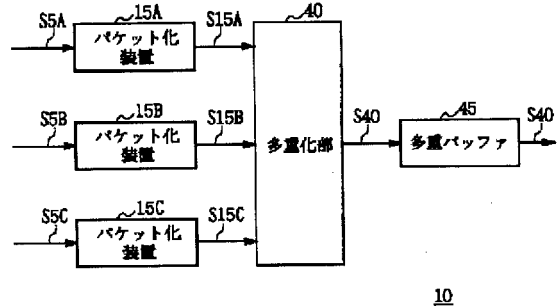


図13 多重化装置

【図9】

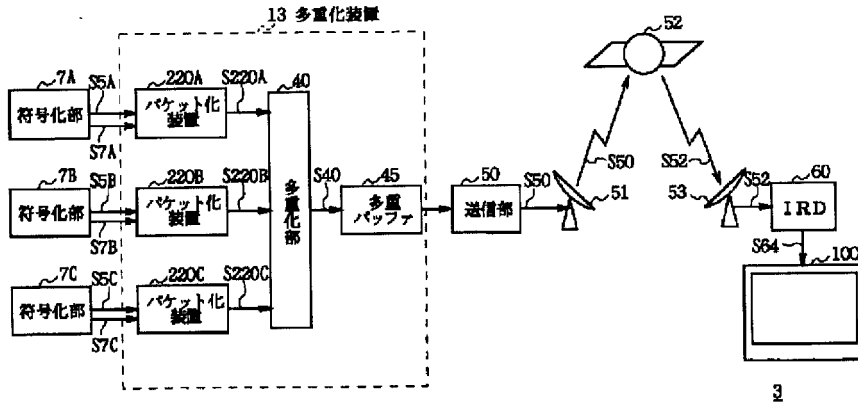


図9 第3の実施の形態によるデジタル衛星放送システム

【図11】

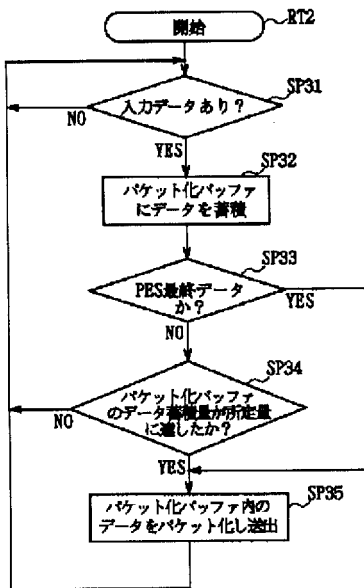


図11 第3の実施の形態によるパケット化処理

【図12】

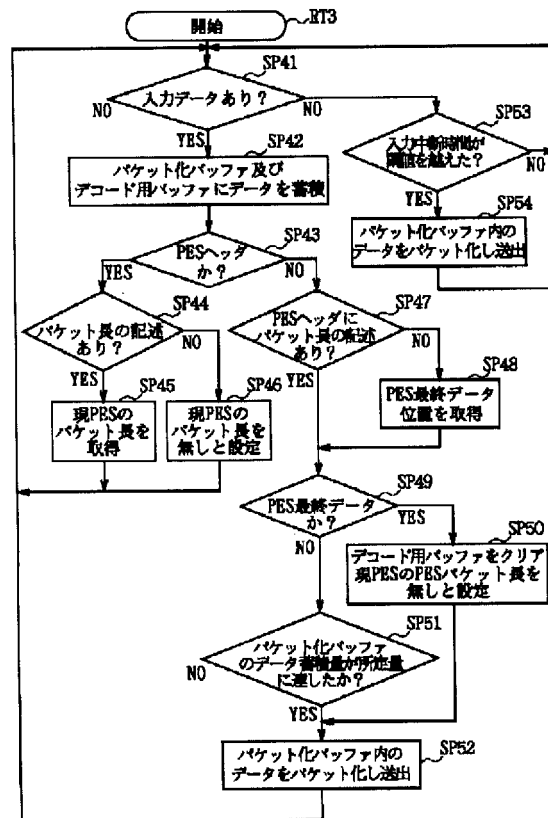


図12 他の実施の形態によるパケット化処理

【図14】

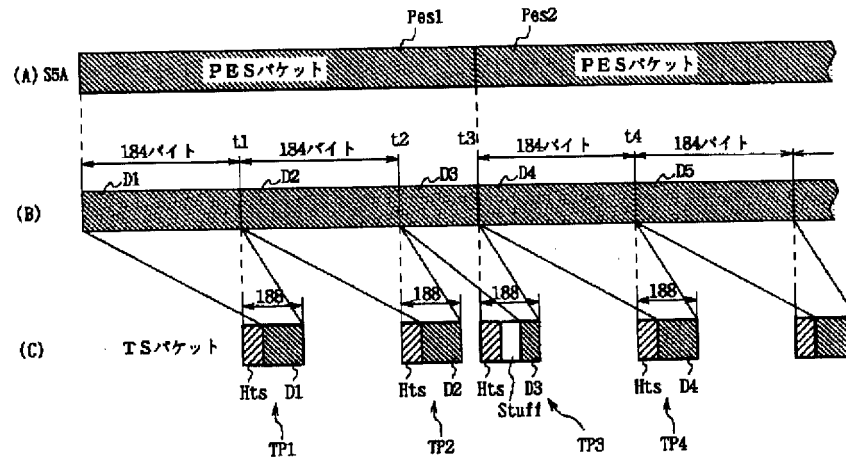


図14 TSパケットの生成

【図15】

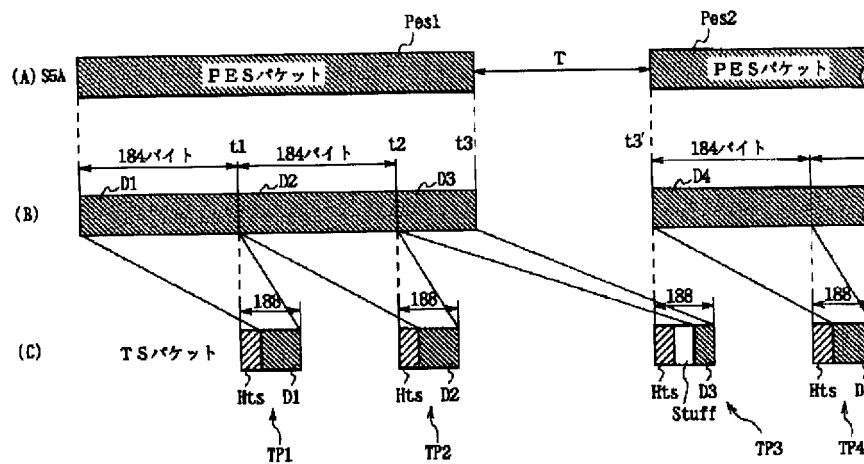


図15 TSパケットの生成遅延